



シリーズ

小豆島の
多様な担い手

地域の味と風景を守りたい カンキツで有機JAS取得を目指す！

～ 土庄町肥土山 太田 翔さん ～



【化学農薬不使用】小豆島産
温州みかんのドライフルーツ

太田翔さんは、土庄町肥土山でカンキツを栽培しています。大学進学を期に、小豆島から大阪に移り、生活していましたが、ふと都会の生活に疲れ、2012年に帰郷し、小豆島の美しい棚田や豊かな農産物を伝えるNPO法人に就職しました。

そんなある日、職場が経営するカフェの食材を仕入れにいった先で食べたカンキツの美味しさに衝撃を受けました。しかし、仕入れ先の農家から後継者がいないことを知り、どうしてもこの地域の味や風景を守りたいと就農を決意し、実家の耕作放棄地の再生や、近隣のカンキツ園地を借入するなど面積拡大を進め、2021年1月に、当該農地を継承し「文次郎農園」として就農しました。

就農当初は、カンキツ栽培の経験がなかった太田さんですが、継承先の農家や近隣のベテランカンキツ農家(師匠)から知識や技術を習得し、栽培に活かしてきました。現在は、JA小豆島柑橘部会みかん研究班の一員として、さらなる栽培技術の研鑽を行っています。

今は、栽培面積80a(20aは未結果樹)で、早生うんしゅう、普通うんしゅうや中晩柑(「不知火」、「はるみ」)などを栽培しています。

自然を大切にしたいという思いが強く、有機JASの取得に向け、認められた農薬や肥料以外は使用していません。「農薬や肥料を制限しながら栽培することは、通常栽培より大変なことは承知しているが、自然との調和を保ちながら、できるだけ美味しい農産物を消費者に届けたい。」と語る太田さん。

カンキツは、小豆島の主要品目の1つであり、産地をけん引する生産者として、今後のますますのご活躍を期待しています。

ラナンキュラスを栽培してみませんか!!



ラナンキュラスは、花弁が幾重にも重なり、可愛い花を咲かせる球根性植物で、近年、需要が高まり、冬～春にかけて生花店でもよく見かけるようになった人気の切花です。

10月に定植すると、12月から翌年の春ごろまで長く収穫ができます。簡易な施設（ハウス）でも栽培可能ですので、ラナンキュラスの栽培を是非試してみませんか。

ラナンキュラスの切花栽培は、県内の一部では古くから行われていましたが、香川県農業試験場において、新たに育成された品種とあわせ、香川オリジナルの「てまりシリーズ」が現在10種ほど流通しています。管内の花き栽培農家でも数年前から取り組んでおり、約20a栽培されています(R3年)

① 花の特徴

- 繊細な花弁が重なり合った八重咲
- 花(蕾)は丸いシルエット
- 花色が豊富
- 花持ち(日持ち性)が良い

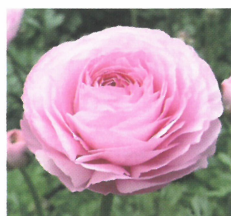
② 栽培の特徴

- 塊根(球根)の冷蔵処理で長期間出荷可能(12～4月出荷)
- 暖房経費が少ない(最低5℃)
- 軽量作物

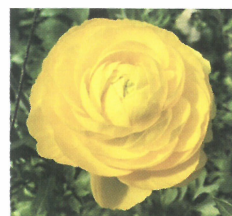
③ 必要なもの

- 栽培施設(ハウス) ● 加温機
- 予冷庫 ● 管理機(耕運機)
- 防除機
- 塊根(分球・増殖し3年程度利用)
- 資材関係
 - ・育苗箱 ・育苗用土 ・フラワーネット
 - ・出荷用箱など

香川県オリジナル「てまりシリーズ」



「恋てまり」
人気のピンク



「ゆずてまり」
出荷ロスが少ない



「小春てまり」
豊産性

ラナンキュラス栽培の流れ

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
作業例	塊根保存	冷蔵処理	定植・生育	開花始め	収穫・出荷					塊根養成	塊根上養保存	



掘り上げ 5月末～



冷蔵芽出し 8月末～



定植10月～(7日目)

ラナンキュラス生産目標

	10aの場合	2aの場合
目標出荷本数	86,400本	17,280本
目標単価	51円/本	51円/本
粗収益	4,406千円	881千円
経営費	2,907千円	581千円
農業所得	1,499千円	300千円
労働時間	1,338時間	268時間

香川県農業経営指標(新規就農者)から抜粋 (R3年)



出荷開始 12月～

ラナンキュラスは暖房の設定温度も低く(最低5℃)省エネ品目であることや、香川県のオリジナル品種で、塊根(球根)も入手しやすいことから、安定して生産できます。

「チャレンジしてみたいなあ」という方は普及センターまでお問い合わせください。

小豆農業改良普及センター(花き担当) 電話:0879-75-0145

新たな農業士が誕生しました

小豆島町西村地区でオリーブ栽培に取り組む八木宏和氏（株式会社八木農園代表取締役）が、管内で15人目となる「香川県農業士」に認定され、5月20日、県庁において浜田知事より認定証が交付されました。

八木氏は平成21年、農地も全くないゼロからの状態で農業に参入し、その後努力を重ねられ、オリーブ園地品評会での最高賞受賞や国際的なオリーブオイル品評会での受賞など、輝かしい実績を積み重ねられています。平成29年には法人化し、小豆島産オリーブの知名度アップや、新規オリーブ栽培者の支援に活躍されています。

令和4年度 香川県農業士・青年農業士認定式



八木 宏和 氏



浜田知事から認定証を交付

「香川県農業士」とは、自らが農業のプロとして優れた農業経営を営むとともに、地域の農業振興のリーダーとして担い手の育成や農村地域活動に積極的に参加している方々で、市町長の推薦により知事が認定するものです。

現在県内では135名が活躍されており、管内では15名で「小豆郡農業士連絡協議会」（武部吉信会長）を結成し、研修会の開催や新規就農者へのアドバイスなど様々な活動を行っています。

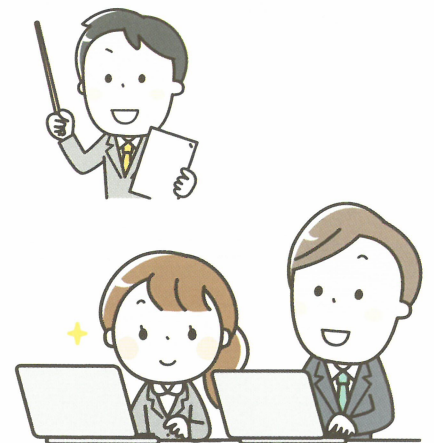
農業経営管理講習会のご案内

認定農業者・認定新規就農者の方を対象に、パソコンによる農業複式簿記講習会を開催します。簿記記帳は、自分の経営を計数で把握する有効な手段です。簿記記帳の結果を経営改善に活用し、農業経営のステップアップを目指しましょう。

また、簿記記帳に基づいて青色申告を行うと、税金が軽減されるなど税制上のメリットもあります。参加ご希望の方は、事前に普及センターまでご連絡ください。

- 開催場所 小豆農業改良普及センター会議室
- 時 間 午後1時30分から午後4時
- 簿記ソフト ソリマチ農業簿記

開催日		内容
6月	15日	次年度更新 日常入力
7月	20日	次年度更新 日常入力
8月	17日	日常入力
9月	21日	日常入力
10月	19日	日常入力
11月	16日	日常入力
12月	14日	決算準備
1月	11日,18日,25日	決算書作成
2月	1日,8日,15日,22日	決算書作成
3月	1日	次年度更新



日程は都合により変更になる場合があります。